

2023年度 産学公連携一覧

N o	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要 *200-250字を目安としてください	学生関与 (人数)	単位認定
--------	------	----	------	--------	-----	------------------------	--------------	------

<美術工芸学科>

1	臨済寺屏風制作プロジェクト	2023/4/1－ 2023/5/1	宗教法人臨済寺	美術工芸学科	菅原 健彦	戦国大名今川家の菩提寺である静岡市葵区の臨済寺において、今川義元公をしのぶ「追善能と狂言」が命日の5月19日に実施される特別企画。一般公開日以外は立ち入れない同寺で古典芸能の開催に合わせて、背景の金屏風に松を描画するプロジェクト。	1	なし
2	上賀茂アートプロジェクト	2023/7/22－ 2023/7/24	上賀茂アートプロジェクト実行委員会	美術工芸学科	出口 雄樹	2023年7月22日～24日に上賀茂神社にて行われた上賀茂アートプロジェクトのイベントとして、重要文化財である「庁屋（ちょうのや）」にて大学院日本画コースの学生作品と行灯の展示を行った。 また、イベントに関連し日本画の画材で「手作りキーホルダー」を作るワークショップを開催した。	13	なし
3	京セラギャラリー2023年 秋季特別展 「無用の好奇心－KUA ceramic lab－」	2023/11/6－ 2023/12/5	京セラ株式会社 (KYOCERA Corporation)	美術工芸学科	多和田有希 神谷 徹、福本 双紅	京セラ株式会社・京都芸術大学は、京セラ本社1階の京セラギャラリーにて2023年度の特別展として、京都芸術大学 美術工芸学科による表現研究の成果展「無用の好奇心－KUA ceramic lab－」を開催した。 2021年、京都芸術大学 美術工芸学科では「表現研究I・III」という授業を開講。この授業では、美術工芸学科の全コース(日本画、油画、総合造形、染織テキスタイル、写真・映像、基礎美術)である6つの専攻コースを越境し、異なる領域の教員同士がタッグを組み、学生と共に未経験の新しい分野と表現法に挑戦した。 全6コースの共通点は「ものづくり」。中でもこの授業に集まる学生は、机上での思考よりもまず手を動かしてモノを考える傾向が強く確かめられた。また、その手で考える合間に、美術史や鑑賞の講義を挟み、論と実の両輪で進められてきた授業。 今回、京セラギャラリーにて授業の成果展を行う事で、プロセスの開放を試みた。	295	あり
4	鹿児島県湧水町WS	2023/8/21－ 2023/6/8	スタジオアートキリシマ有限公司	美術工芸学科	金澤 一水	鹿児島県湧水町にて2015年から通算7年目を迎えたこの「芸術がある町」事業の発端で毎年地元の子供たちとの交流を深めてアートを楽しんでもらう湧水町WSを展開してきた。湧水町で9/3に行われるイベントに向けたワークショップ。8/21～25の5日間。(学生は4泊5日)竹を使ったモニュメント造形制作と参加型ワークショップ体験を行う。	8	なし
5	「てに－く」染テキ3年生 ×ケイコロール	2023/5/1－ 2023/7/1	山元染工場自社ブランド「ケイコロール」	美術工芸学科	山元 桂子	この授業では手ぬぐいをデザイン、染色、販売した。学生たちはマネジメント、プロモーション、パッケージ、オンラインショップ、経理、生産管理、6つのチームに分かれ、それぞれの業務を担当した。それぞれが主体性をもって授業時間内外でプロジェクトを進め、膨大な業務量をこなしながら、自身が制作した物を社会に流通させることの難しさと楽しさを体感し、多様な価値観を会得することを目的としている。	28	なし
6	「京をどり手ぬぐい 2023」オリジナル&コラボ	2022/12/1－ 2023/4/1	宮川町御茶屋組合	美術工芸学科	山元 桂子	京をどり2023のテーマである「洛中洛外図舟木本」から着想を得て、有志メンバー10名それぞれに手ぬぐいをデザイン。そのデザインを自身で製版、染色しプロダクトとし販売した。パッケージデザインも担った。 芸舞妓さんと一緒に手ぬぐいの柄をデザインする「一緒につくるプロジェクト」を発足。芸舞妓さんと打ち合わせを重ね、共にデザインを起こした。インクジェットプリントを外注し、販売した。パッケージデザインも担った。	10	なし

<マンガ学科>

1	海外向け日本食文化紹介書籍マンガ制作	2023/6/1－ 2023/8/1	Hokkai Suisan B.V.	マンガ学科	矢野 浩二	オランダを拠点として食品加工販売を営むHokkai Suisan B.V.による、海外に向けた日本食文化を紹介する書籍において、マンガ挿絵を制作した。社長が日本で修行をした際のエピソードや事業を海外展開する際のエピソードなどを丁寧にヒアリングし、各章の概要がわかるようにショートストーリーマンガを制作。台詞なしのサイレントマンガとして表現することで、言語を超えて伝わる内容とした。	1	なし
2	福島県田村市コンチューバーサミット	2023/10/1－ 2024/3/1	福島県田村市	マンガ学科	矢野 浩二	福島県田村市による地域創生プロジェクト。多様な昆虫が生息する地域は自然が豊かであり、人間と自然の共生関係が保持されている地域であるという考えのもと昆虫による地域PR及び新しい社会づくりを推進。養老孟司先生をはじめ見識者や、ビジネスからアート、エンタメまで各業界の昆虫に関連する環境活動家が一同に会し、サミットを開催した。弊学教員も参加するとともに、サミット登壇者を昆虫キャラクター化し、絵本を制作した。	1	なし

N o	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要 *200-250字を目安としてください	学生関与 (人数)	単位認定
--------	------	----	------	--------	-----	------------------------	--------------	------

<キャラクターデザイン学科>

1	明治サスティナブルカカオプロジェクト	2023/9/1－2023/12/1	株式会社明治 株式会社イノベーションアーティスト	キャラクターデザイン学科	矢野 浩二	チョコレートの原料となるカカオの需要が世界的に拡大している一方で、生育条件上、カカオ農園は赤道付近の国々でしか運営できず、環境保全や児童労働などの観点で課題を抱えている。株式会社明治が推進する持続可能なカカオ栽培と消費者意識向上に向けて、カカオの歴史や農園の取り組みなどをマンガ冊子を作成し、展示会や小学校での配布など啓蒙活動を支援させていただきました。	1	なし
2	日本総研との共同研究講座	2023/4/1－2024/3/31	株式会社日本総合研究所	キャラクターデザイン学科	石鍋 大輔	◎講座の名称：チャレンジ・カーボンニュートラル・コンソーシアム (CCNC) 脱炭素行動変容実証 ◎研究目的：クリエイティブの力を通じた脱炭素に係る行動変容に挑戦する。 研究内容：実際の行動変容結果というよりも（*よい仕掛け・アイデアが得られれば尚良し）本取組自体を魅力的なコンテンツとして仕立てて対外発信し、協力店舗やアプリへの集客を促し、実証参加者を確保することに力点を置く。 ○日本総研の役割：複数の参加企業で構成するコンソーシアムにて実証を企画・推進 検証行うために各企業との橋渡しやサポートを行う。 ○本学の役割：キャラクターを活用し、店舗キャンペーンやPOPを作成、参加者の行動変容のアイデア出しと実施を行う。	15	その他
3	2023年京阪百貨店クリスマスイベントにかかるキービジュアルの制作	2023/7/1－2024/1/1	株式会社京阪百貨店	キャラクターデザイン学科	太木 裕子	京阪百貨店5店舗（守口店、くずはモール店、ひらかた店、モール京橋店、すみのどう店）において、11月初旬～12月25日までの期間に展開するクリスマスのビジュアルとなるイラストを制作。 ◎ビジュアルについては、最終案は京阪百貨店にて選定。参加学生の作品はHPにて公開。採用された案は、店内装飾物、折込チラシ、ショッパー、EC・ホームページ、LINE、SNS（Instagram・Facebook）、店頭POP、店頭デジタルサイネージに使用された。	15	なし
4	京朋X京都芸術大学 振袖デザインプロジェクト	2023/10/1－2024/3/1	株式会社京朋	キャラクターデザイン学科	太木 裕子	株式会社京朋様で販売されている振袖の、新たなデザインを考案する。その振袖の新たなデザインを、連携先に提案する。	16	なし
5	着物の帯のデザイン提案	2023/7/1－2024/1/1	株式会社京朋	キャラクターデザイン学科	太木 裕子	株式会社京朋との連携プロジェクト。2021年度、2022年度と継続して着物のデザイン提案という形で連携を行ってきた。今回は商品化をゴールにして半幅帯のデザイン提案を行う。	16	なし
6	産学連携カプセルトイ企画	2023/9/1－2024/3/1	(株)J・ドリーム	キャラクターデザイン学科	太木 裕子 鴨志田由貴	株式会社J・ドリームで企画製造されているカプセルトイの新たなデザインを考案する。 デザインはコンペ形式でおこない、選抜されたデザインは実際に商品化までおこなう。	29	なし
7	京都府バス協会のPRに係る研究委託	2023/7/1－2024/1/19	一般財団法人 京都府バス協会	キャラクターデザイン学科	鴨志田由貴	京都府バス協会が抱える運転手の人材確保の課題解決を目指すため、京都芸術大学が行っている芸術教育によって培われた力を活用する。 京都府バス協会主催イベントに向け ・バスの現状調査、イメージ展開 ・イベント開催に向けての企画・提案 ・イベント開催時のポスター・広報設計・ノベルティデザイン等を実施する。	12	あり

<情報デザイン学科>

1	XRデザイン	2023/6/1－2024/3	株式会社京阪レジャーサービス（ひらかたパーク）	情報デザイン学科	山下 光恵	6月～8月：事前現地リサーチ、8/21～25日：授業実施 情報デザイン学科（20名）・キャラクターデザイン学科（20名）・漫画学科（10名）合計50名 ひらかたパークの人気アトラクションを情報デザイン学科・キャラクターデザイン学科・マンガ学科の学生たちがリサーチして擬人化キャラクターとしてデザインする。昨今のイラストレーションブームを利用してZ世代を集客する魅力的なビジュアルを作成。 アトラクションの背景にあるストーリーを自由な発想で膨らませ新たな遊園地の魅力を伝えるPRとして社会実装した。	20	あり
---	--------	-----------------	-------------------------	----------	-------	---	----	----

N O	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要 *200-250字を目安としてください	学生関与 (人数)	単位認定
2	ひらかたパーク公式・大学 公式SNSに掲載する YouTube動画広告の作成	2023/11/15－ 2024/1/19	株式会社京阪レジャー サービス（ひらかた パーク）	情報デザイン学科	山下 光恵	10/27～11/14：事前現地リサーチ 11/15～1/21：授業実施 情報デザイン学科イラストレーションコース2年合計53名 「ひらパーであそぼう。」のキャッチフレーズをもとに、ひらかたパークへZ世代を集客させる魅力的なYouTube動画広告を作成する。 イラストレーションコース4つのフィールド（プランニング・ディレクション・イメージメイキング・モーション）の学生が5～6人1チームで協力し合うグループワークとして制作する。 自由な発想を膨らませ新たな遊園地の魅力を伝えるPRとして、ひらかたパーク公式YouTubeチャンネルの中で公開し社会実装する。	53	あり
3	KYOTO駅ナカアートプロ ジェクト	2023/11/10－ 2024/12/20	京都市交通局 株式会社 ジイケイ京 都 ボノス株式会社 株式会社島津製作所	情報デザイン学科	楠本 孝美	「KYOTO駅ナカアートプロジェクト」は、京都市及び京都市内の芸術系等8大学の学生たちによる、アート作品を地下鉄駅に展示し、京都の地下鉄のイメージアップと活性化を図るとともに京都の文化芸術の発信を目的に、平成23年度から始まり今回で12回目となるイベント。今回京都芸術大学では、情報デザイン学科学生6名によるアート作品の展示を京都地下鉄「東山駅」の壁面に行った。	6	なし
4	デザインシンキングを活か して、未来のMetaverse観 光を企画しよう	2023/10/11－ 2023/10/25	AMP.Kyoto（株式会社 エスユーエス）	情報デザイン学科	太田 高揚 疋田 淳喜	「未来のMetaverse観光を企画しよう！」をテーマにAMP.Kyoto（株式会社エスユーエス）のご担当者様にご来校いただき、全5回の講義を行った。 授業は京都観光の課題を整理した上で、学生たちが共感しやすい20代をターゲット顧客として設定し、ユーザージャーニーマップを作成したうえで、ブランドエクイティピラミッドというフレームワークを用いて、企画提案を実施した。	80	あり
5	デザインシンキングを活か して、大阪万博のサテラ イト企画をしよう	2023/10/1－ 2023/11/1	南海電気鉄道株式会社	情報デザイン学科	太田 高揚 疋田 淳喜	「デザインシンキングを活かして、大阪万博のサテライト企画をしよう」をテーマに南海電鉄および御堂筋商店会・戒橋商店街の担当者に来校いただき、全5回の講義を実施。授業のテーマは、大阪万博のサテライト企画。大阪万博が2025年4月からスタートするにあたり、2024年4月13日からなんば・道頓堀のエリアで1年早くサテライト会場プロジェクトをスタートする。そのミナミエリアの企画・プロデュースを学生たちが担当。訪日外国人富裕層をターゲットとして設定し、ユーザージャーニーを作成したうえで、ブランドエクイティピラミッドというフレームワークを用いて、企画提案を実施した。	80	あり
6	「NIPPON FOOD SHIFT - 農林水産省近畿農政局-連 携協定推進-」	2023/4/1－ 2024/2/1	農林水産省	情報デザイン学科	服部 滋樹	2021年10月京都芸術大学×農林水産省近畿農政局との連携協定締結に合わせ後期より授業として農水省未来提言「NIPPON FOOD SHIFT」をベースとし、未来提言を可視化し、アクションプランへと進めていく。 2023年度は情報デザイン学科2年生・3年生の「賞味期限2050」と題した展覧会を開催した。食の問題について情報を解りやすく表現し、提案型の展示となった。この展示をご覧下さった農水省広報課より連携協定へと進む運びとなった。 4月初旬-農林水産省～インストール、5月～6月リサーチ・フィールドワーク、9月NFSF東京2023にて中間発表（東京丸の内）、11月～12月アウトプット 2024年1月 NFSF大阪 展示発表/中間プレゼンテーション/京都芸大×東京農大 令和5年9月23日（土曜日）～24日（日曜日）の2日間、東京丸の内エリア（丸ビル1階マルキューブ、丸の内仲通り）展示発表会/令和6年1月13日（土曜日）～14日（日曜日） 農林水産省「食から日本を考える。NIPPON FOOD SHIFT FES.大阪」 農水省未来提言「みどりと食料システム戦略」の提言を可視化・アクションプランへ展開する。9チーム編成で14項目の提言をピックアップし、未来へアプローチする。インフォグラフィックス～ゲームデザイン、アクションプランのロジックをアウトプットする。9つのゾーニングにより回遊性のある展示構成となる。	30	あり
7	春日井製菓株式会社_パッ ッケージデザイン	2022/2/1－ 2024/1/1	春日井製菓株式会社	情報デザイン学科	服部 滋樹	■概要 春日井製菓株式会社が主催として、京都芸術大学の学生を対象にパッケージデザインコンペを実施し、優秀作品を選定、商品化する。 ■成果物 ・Z世代を対象とした豆菓子のパッケージデザイン	5	なし

N o	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要 *200-250字を目安としてください	学生関与 (人数)	単位認定
8	電通グループ人権アートプロジェクト	2023/10/2－ 2023/12/8	株式会社電通	情報デザイン学科	藤原 裕三	学生が「人権ポスター」を制作した。ポスターサイズ＝B 2 縦（728×515mm） 「課題コピー」の中から選ばれたコピーに、ビジュアルとデザインを考えた。初日のレクチャーをオリエンテーションとし、制作の参考にした。制作する際のクリエイティブディレクターは、電通のクリエイターが務めた。クリエイターと学生が対話しながらアイデアとデザインを練り上げ、アイデアスケッチや原寸ラフを持ち寄る検討会を行い、案をブラッシュアップしていった。最終日は、完成作品のプレゼンテーションと講評を行った。	16	なし
9	情報デザインプロジェクトⅤ（ひらかたパーク） ※2022年度授業だが商品化のロイヤリティが継続していたため記載	2022/4－ 2023/3 追加契約延長：2022/4－ 2024/3	株式会社京阪レジャーサービス（ひらかたパーク）	情報デザイン学科	齊藤 信和	2022年10月にひらかたパークが開園110周年を迎えることを契機に、同遊園地（京阪電鉄）が抱える企業課題の解決を目的とした授業を行います。デジタルネイティブのZ世代（学生）が、同世代の集客や話題性UPを目的にひらかたパークのオリジナル商品等を企画開発します。商品化された際には、ロイヤリティを学生にも分配し、社会実装をリアルに体験する機会とします。 (授業は2022年に実施。2024年3月末まで商品化のロイヤリティ契約が継続していたため、今年度にも記載)	40	あり

<情報デザイン学科・クロステックデザインコース>

1	シリカゲル乾燥剤商品の共同開発	2023/6/30－ 2023/9末	山二薬品株式会社	クロステックデザインコース	吉田 大作	■概要 シリカゲルを活用した新たな商品企画やプロモーション企画 ■成果物 京都鴨川音楽祭でのワークショップ、商品企画書	6	なし
2	令和5年度文化芸術資源活用交流事業における教育プログラムの実施	2023/10/24－ 2024/2/29	青森市	クロステックデザインコース	吉田 大作	■概要 青森市の小中学校での「AIが広がった社会を体験し、青森市の未来を考える」体験授業の実施 ■成果物 小学校1校、中学校1校での出張事業の実施	2	なし
3	令和5年度文旅するキャンパス創造事業	2023/10/1－ 2024/3/31	天草市	クロステックデザインコース	吉田 大作	■概要 天草市での小中学生向けワークショップ、社会人向けワークショップの企画・実施。芸術大学の学びを市民が体感できるようにする。 ■成果物 2023年10月「ローカルフォト」をテーマに、講座と実践を2日にわたって実施。 2024年1月小学校2校、中学校2校での「AI」をテーマにした出張事業の実施。2024年2月「天草のさりの島かるた」のお披露目ワークショップを実施。	10	なし
4	UHA味覚糖『特恋ミルク』商品企画		UHA味覚糖株式会社	クロステックデザインコース	吉田 大作	■概要 バレンタインデーの時期を対象とした『特恋ミルク』の企画提案。 ■成果物 2024年1月から3月14日まで、全国のコンビニ、スーパーなどで販売。100万個以上売れたヒット商品となった。	22	なし

N o	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要 *200-250字を目安としてください	学生関与 (人数)	単位認定
--------	------	----	------	--------	-----	------------------------	--------------	------

<プロダクトデザイン学科>

1	ダイソー商品をデザインする産学連携授業	2023/4/1－2023/8/1	株式会社 大創産業	プロダクトデザイン学科	北條 崇	2023年前期の授業内で、ダイソーブランドの商品企画提案を行い商品化を目指す。8月頭にバイヤーに対してプレゼンを大創産業東京オフィスで実施した。今後、大創産業内で商品化を検討し、2024年3月頃から順次発売開始予定。	15	あり
2	Sensing Products & Service 【ソニーグループ】	2023/4/1－2023/9/1	ソニーグループ株式会社クリエイティブセンター	プロダクトデザイン学科	詫摩 智朗	ソニーグループ株式会社の持つ映像やオーディオ技術、センシングやロボティクスといった技術の活用ノウハウについて直接指導を受け、課題発見・分析・情報の構造化・可視化といった一連のプロセスを通して新価値を創出し、イメージムービーやモックアップでデザイン提案を行った。 課題テーマは「家事の『楽しい』をデザインする」。 この授業を受講した2.3年生の学生は、ソニークリエイティブディレクターでもある詫摩教授指導の下、大学生にも身近な家事の負担を、デザインの力で楽しみに変える探索を行った。	17	あり
3	ACTUS × KUA	2023.9.22－2024.1.31	株式会社アクタス	プロダクトデザイン学科	大江 孝明	【暮らしの時間を大切に過ごすためのインテリアプロダクト】 眠っている時間を除けば、我々が家で過ごし、プライベートな空間で暮らしを送る時間は、働いている時間よりも短い。そんな暮らしの時間を大切に過ごすと為に、インテリアプロダクトにできることは一体何だろうか？暮らしの時間とは？大切に過ごすとは？ということをしサーチを基に定義し、新たなインテリアプロダクトの可能性を、具現化したデザインで提案する。 <デザインの対象> アクタスで扱っているインテリアプロダクト <最終提出物> 原寸の模型 +プレゼンテーション資料 <※アクタス向け最終プレゼン> 2024年1月 4～5週目 於 京都芸術大学	14	あり
4	キングジムx中央大学x京都芸大 商品開発プロジェクト	2023/9/1－2024/3/1	株式会社キングジム	プロダクトデザイン学科	詫摩 智朗	株式会社キングジム(木村専務、開発部長)と中央大学(商学部 行木教授)と京都芸大(プロダクトデザイン学科 詫摩教授)による商品開発プロジェクト。 キングジムの設定した「学生の学生による学生のための今までにない学びのグッズ」というテーマに対し、中央大商学部の学生からビジネスプランを提案し、これを受けた京都芸大プロダクトデザイン学科2年生から学生視点でデザイン提案を行った。 12/22, 2/21に行われたデザインプレゼンテーションを以てデザイン2023年度の活動は完了とするが、今後はキングジム側で商品化に向けた詳細検討が行われるため、2024年もプロジェクト継続予定。 https://www.kyoto-art.ac.jp/news/press/1164	7	なし

<空間演出デザイン学科>

1	ジェンダーレスインナーの共同研究	2023/4/1－2023/9/1	株式会社ニッセン	空間演出デザイン学科	伊藤 正浩	株式会社ニッセンが取り組むトランスジェンダーの方のためのインナーウェア開発「as is」に学生視点でのリサーチを重ね新規商品を開発していくプロジェクト。「as is」はさまざまな性、体格、見た目などの枠から解放され、ありのままの自分で生きたいと願う多くのトランスジェンダーの方が抱える自分に合う下着がないという悩みを解消したいという想いからスタートしている。	5	なし
2	京都ブランド「SOU・SOU」コラボレーションプロジェクト	2023/4/1－2023/7/1	若林株式会社/SOU・SOU	空間演出デザイン学科	伊藤 正浩 若林 剛之	地域アイデンティティを持つローカル・ブランドとの連携によるファッション・ブランドを制作する。SOU・SOUとの協働を続け、伝統産業を残すには多大な努力と魅力的なデザインが必要なことを学び、社会に発信する。京都ブランド「SOU・SOU」と弥生時代に生まれた貫頭衣をベースに三重県の伝統工芸品である伊勢木綿を使用した服の企画・デザイン・制作を行い、販売・接客までを行う。企画から販売までのプロセスを学ぶ。	15	あり

N o	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要　＊200-250字を目安としてください	学生関与 (人数)	単位認定
--------	------	----	------	--------	-----	------------------------	--------------	------

＜環境デザイン学科＞

1	株式会社長栄とのワンルーフマンションのリフォーム案の提案(Stamp!)	2023/5/1－2024/4/1	株式会社長栄	環境デザイン学科	松本　崇	株式会社長栄が管理するマンションを学生のアイデアでリフォームするプロジェクト。学生は長栄社員や施工請負スタッフに対してプレゼンテーションを行い、最優秀賞・優秀賞・特別賞が決定された。受賞作品は実際に施工され、賃貸物件として居住者を募集される。	15	なし
2	京都芸術大学 保険センター内学生相談室 クロス貼りワークショップ	2023/11/1－2023/11/20	一般社団法人クロス事業協会	環境デザイン学科	松本　崇	一般社団法人クロス事業協会からの資材提供並びに、クロス(壁紙)についての知識や施工(貼り方)の指導を受け、インテリアに興味を持つ環境デザイン学科の学生が保健センター内学生相談室に施工する。	12	なし
3	三井住友信託銀行 / 北山杉を用いたロビー空間のデザイン及び製作	2023/12/1－2024年6月末	三井住友信託銀行株式会社	環境デザイン学科	松本　尚子	三井住友信託銀行大阪本店の待合ロビーに、京都の北山杉を使用した空間デザインを行うプロジェクト。中川京北での産地見学や生産者との意見交流を行い、地域や産業の現状を共有した。環境デザイン、美術工芸学科の学生が協働し、3Dモデリングやモックアップなどさまざまなツールを使いながら、北山杉を新しい視点で捉え待合空間のデザインに取り組んでいる。(2024年度継続案件)	9	なし

＜映画学科＞

1	「新」北白川派プロジェクトのための準備活動	2023/9/1－2027/3/1	静岡県立大学	映画学科	山本起也	映画学科でこれまで8本の劇場公開映画を製作・公開してきた「北白川派プロジェクト」を新たな形で再構築。「新」北白川派プロジェクトを発動させるための準備を、静岡県立大学との連携で行う。 2023年9月から計四回、静岡県立大学で「静岡で映画を製作するための市民講座」を開講。 山本起也をファシリテータに、映画学科教員水上竜士やクロステックデザインコースの吉田大作、映画学科学生有志も参加。のべ244名の市民や学生が参加した。 講座では「映画制作が地域にもたらす効果と弊害」「映画による地域の魅力の再発見や地域発信」など、地域を受け皿にした映画製作についてさまざまな角度から探究。 四回の講座終了後、受講生約30名から、映画製作に関わる意思が表明され、2024年3月1日から5日まで、市民や学生が発見した「映画の場面の舞台になりうる場所」へのロケハンを実施。 今後、映画が完成、公開、発信される2027年3月まで約三年間に渡り、静岡県立大学並びに市民や学生と連携し、「新」北白川派プロジェクトを推進していく。	14	なし
---	-----------------------	-------------------	--------	------	------	---	----	----

＜舞台芸術学科＞

1	三京えのきこども園 背景画制作プロジェクト	2023/6/1－2023/11/1	社会福祉法人えのき会 三京えのきこども園	舞台芸術学科	平井　愛子	三京えのきこども園にて12月2日（土）に実施されたリトル・フェアー（上演会）ミュージカル『葉っぱのフレディ』の背景画をデザインを作成した。	14	なし
2	京都府警警務課被害者等支援連携訓練	2023/11/1	京都府警本部被害者支援室	舞台芸術学科	平井　愛子	京都府警本部被害者支援室が実施した「死傷者多数訓練」におけるロールプレイで被害者家族役を演じた。	7	なし
3	京都府交通安全協会 広報動画アテレコ	2023/10/1－2023/11/1	一般財団法人 京都府交通安全協会	舞台芸術学科	平井　愛子	京都府交通安全協会がイベント等で使用する広報動画の声優（アテレコ）を担当。	3	なし
4	京都府交通安全協会イベント	2024/2/1－2024/3/1	一般財団法人 京都府交通安全協会	舞台芸術学科	平井　愛子	京都府交通安全協会によるゼスト御池での広報イベントでパフォーマンスを実施した。イベント実施日は、2024年2月12日、3月20日	8	なし

＜文芸表現学科＞

文芸表現学科は0件								
-----------	--	--	--	--	--	--	--	--

N o	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要 *200-250字を目安としてください	学生関与 (人数)	単位認定
--------	------	----	------	--------	-----	------------------------	--------------	------

<アートプロデュース学科>

1	豊中市立文化芸術センターの来場者にかんする調査と分析	2023/4/10－2024/3/15	株式会社JTBコミュニケーションデザイン 豊中市立文化芸術センター	アートプロデュース学科	山下 里加	豊中市立文化芸術センターのカフェ利用者および貸館利用者の属性・文化資本・来場動機・満足度などをアンケートで調査・分析した。「カフェは文化には親しみのない人たちも利用しており、まちに開かれた文化施設の入口になっている」「貸館は利便性に加えてセンターへの信頼が動機になっている」といった結果を、学生が報告書にまとめ、センター職員、カフェ経営者らへの報告会で共有した。	6	あり
2	茨木市文化・子育て施設おにクル2階における映像作品《Wonder Wall》を活用した市民ワークショップイベントの実施	2023/1/12－2023/3/31	茨木市	アートプロデュース学科	山城 大督	茨木市文化・子育て複合施設おにクル2階における映像作品《Wonder Wall》を活用したワークショップイベントを実施することで、子育て世帯を中心に映像作品に対するより一層の理解や愛着を醸成し、わっくるのPRやおにクル施設全体の魅力向上、さらには《子育て×芸術》の施策連携の体現を図ることを目的とした。一般参加者40名	5	なし
3	「プレイシアター in summer 2023」における子どもを対象にしたワークショップの企画運営	2023/4/20－2023/9/1	ロームシアター京都 公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団	アートプロデュース学科	山城大督	2017年からロームシアター京都が実施している子どもを対象とした夏休みイベント『プレイ！シアター in summer 2023』にて、アートプロジェクト演習を受講する学生がワークショップを企画し実施した。ロームシアター京都の企画担当者から依頼内容を受けて、ロームシアター京都の館内を巡るスタンプラリーを制作した。参加者は500人を越えるほど好評だった。2024年度も実施を予定している。	9	あり
4	「高槻城公園芸術文化劇場」における子どもを対象にしたワークショップの企画運営	2023/9/20－2024/1/20	高槻城公園芸術文化劇場 公益財団法人高槻市文化スポーツ振興事業団	アートプロデュース学科	山城 大督	2023年にリニューアルオープンした大阪府高槻市の劇場「高槻城公園芸術文化劇場」。市民が劇場をさらに親しみを持って関われる仕掛けを企画立案する依頼を受け、アートプロジェクト演習を受講する学生がオリジナルコンテンツを開発し提案し実施した。2022年度にアートプロデュース学科として企画協力した『高槻芸術時間「インターロード」』で構築した高槻市との関係性をさらに発展することに寄与した。2024年度も継続して実施を予定している。	9	あり

<こども芸術学科>

1	トーマスひむろ認定こども園の職員研修	2023年3月末－2023年6月末	社会福祉法人もえぎの会トーマスひむろ認定こども園	こども芸術学科	近江 綾乃	こども園の職員向けに、「気付いて築く」というタイトルのもと、ワークショップ型研修を実施。こども芸術学科の持つ専門性を活かして、「五感を使って気付く（感情、思考、プロセス）。知識と技を蓄えて実践に活用する。」ことを目的とした。	2	なし
2	2023年度ロームシアター京都自主事業「プレイ！シアター in Summer 2023」オープンデイ 京都芸術大学こども芸術学科「あんふぁんずー」ワークショップ	2023/8/11－2023/8/12	ロームシアター京都、京都市	こども芸術学科	河村 浩世	京都芸術大学 こども芸術学科「あんふぁんずー」へんてこ夏まつりワークショップ 夏まつりの屋台をテーマに、京都芸術大学こども芸術学科の学生有志が、造形ワークショップを企画しました。一昨年、昨年に引き続き3回目の出店となる今年は、オリジナルのお面づくりやスライムでの水あめ遊び、金魚すくいやスーパーボールすくいなどをモチーフにした遊びなど、3つのワークショップ屋台が夏のロームシアター京都に出現しました！3つの屋台をゆっくりと回りながら、少し変わったへんてこな夏まつりの時間をお楽しみ頂きました！作品などお持ち帰りいただける物もあり、子どもたちにとっては心に残る思い出になったのではないのでしょうか。	11	なし

N o	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要 *200-250字を目安としてください	学生関与 (人数)	単位認定
--------	------	----	------	--------	-----	------------------------	--------------	------

<歴史遺産学科>

1	旧修学院荘茶室・庭園保存活用プロジェクト	2023/4/1－2024/3/31	京都市風致保全課	日本庭園・歴史遺産研究センター/歴史遺産学科	仲隆裕・木村栄美・宇佐美智之	京都市左京区修学院にある修学院荘（旧辻本邸）には,広大な庭園と堺市千利休邸跡に所在した茶室「懐旧」が移築・現存している。現在は古都の風致保存のため京都市の所有地となっている。本プロジェクトはこの歴史遺産の保存と今後の活用を図るため,庭園の荒廃防止と茶室・露地の保存修復を行うものである。現在はその第1期として,活用の基礎となる実測図の作成,庭園・茶室・露地の清掃と部分的な修復,活用策の検討を行なっている。	25	あり
2	奈良県立民俗博物館との連携協力協定	2023/4/1－2024/3/31	奈良県立民俗博物館	歴史遺産学科	溝邊悠介	奈良県立民俗博物館と協力協定を結び、博物館が所蔵する民俗文化財を修復実習として授業内で修復し、報告書にまとめて学生の修復技術の向上を目指す。また、その修復成果を博物館で企画展示し、文化財保存修復の取り組みを世間一般に広く普及することを目的とする。	14	あり
3	高浜町民俗文化財整理事業	2023/9/1－2024/3/31	高浜町郷土資料館	歴史遺産学科	溝邊悠介	高浜町郷土資料館が所蔵する民俗文化財の調査、台帳整理、クリーニング等保存作業を行い、学生の調査・修復スキル向上を目指すとともに、高浜町郷土資料館と協働して民俗文化財の資料価値を展示の形で公開する。活動成果展示は2024年4月開催。	6	なし
4	桃山乃木神社塑像修復事業	2024/2/1－2024/3/31	桃山乃木神社	歴史遺産学科	溝邊悠介	桃山乃木神社が所蔵する乃木家三座像（塑像）の修復、旧長府乃木邸の展示民具のクリーニング作業・復原修復作業を行うとともに、乃木希典像の歴史的調査を神社と協力して行い、塑像の制作過程を明らかにし広く公開することを目的とする。	23	なし
5	久多の山村生活用具整理活用事業	2023/6/1－2024/3/31	久多自治振興会	日本庭園・歴史遺産研究センター／歴史遺産学科	溝邊悠介	左京区久多の京都市登録有形民俗文化財「久多の山村生活用具」の再整理と展示活用のため、指定文化財周知に向けた冊子制作と普及イベントを企画し、指定文化財の活用を図る。	23	なし

<芸術教養センター>

1	松江水燈路ねぶた制作プロジェクト	2023/7/3－2023/11/3	一般社団法人松江観光協会	芸術教養センター	森岡 厚次	本件は一般社団法人松江観光協会と本学の産学連携事業です。島根県松江市の秋のイベント「松江水燈路」に合わせ、①イベント実施期間中、松江城周辺会場の武家屋敷にて、展示するライトアップモニュメント（犬型ねぶた）を学内で制作し現地で展示する。②地域交流イベントを考え、実施する（小犬ねぶたの制作ワークショップ）の一連を行う地域活性化プロジェクト。	6	なし
2	エルメス×河原シンスケねぶた制作プロジェクト	2022/2/7－2023/5/18	エルメスジャポン株式会社	芸術教養センター	森岡 厚次	エルメスジャポン社が考案したテーマに沿って、芸術教養センターにてねぶた（うま、うさぎ、カエル、さる）を制作いたします。 制作したねぶたは、「プティアッシュ」（仮）とのタイトルで実施するエルメスジャポン社の展示にて大阪中之島美術館にて展示されます。 一般公開は2023年4月28日から5月18日までの予定です。	17	なし
3	南座看板制作プロジェクト	2023/4/1－2023/7/1	松竹株式会社南座	芸術教養センター	丸井 栄二	400年という伝統を持つ南座の正面入り口に掲げられる一文字看板のデザインを作成し、そのデザインを手描き看板にして納品する。2022年度後期は「初笑い! 松竹新喜劇―新春お年玉公演」の演目について看板を作成した。単にデザインを考えるだけでなく、学生は京都市景観条例についても学び、実際の社会で使用できるデザインについての見地も広げた。京都市景観条例という厳しい条件の中で新鮮なデザインを考え、そのデザインを10mを超えるサ イズで手描きで再現するという2つの大きなハードルを学生は超えることができた。	28	あり
4	Ms.Pearl プロジェクト	2023/4/1－2024/3/1	株式会社カムデン	芸術教養センター	本橋 弥生	(前期)ブランディングを学ぶ「ブランディング=顧客の共感を生み、ブランドのファンを増やす」という考えのもと、今年は「あっ ジブンパールみつけ」をテーマに掲げ、神戸国際宝飾展（IJK）で宝石市場の現場調査や、デザイン指導、特別ゲストを招いてのパッケージについての講義をとおしてパールやジュエリーについて多角的に学んだ。9月の学園祭では自分たちがデザインしたパールジュエリーの 販売や、学内からモデルを募り、パールがもっとも似合う人を選出する「Ms.pearl コンテスト」を行った。これらの活動により学内で認知度を上げ、ブランディングの第一歩 は成功したといえる。 (後期)3月2日に連携先が阪急うめだ本店にて主催したイベント「デビュタント・ボール」において、いかに初対面の18歳の新成人たちが、くつろぎ、楽しみながら、パールをはじめとする装いの文化について学んでいくことができるのか、会のプログラムについて検討・考案し、実施した。	11	あり

N o	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要 *200-250字を目安としてください	学生関与 (人数)	単位認定
5	粟田大燈呂プロジェクト	2023/4/1ー 2024/3/31	粟田大燈呂実行委員会	芸術教養センター	山田 純 森岡 厚次	京都東山にある粟田神社。天保3年以前に途絶えたといわれる粟田神社の「夜渡り神事」を、180年ぶりにアートで復活させ今回で16年目となる。 単なる制作だけではなく、神社や周辺地域の歴史・伝承等を調査、京都の歴史・芸術・文化を掘り下げ、そこから見えてくる日本人の感性を捉えなおし、モノづくりとはどういう事なのかを考察する。京都の日本の祭りを再発見し、モノづくりにおける「モノがたり」が如何に必要であるかを経験、より一歩進んだグループワークを実施した。 3基の大燈呂制作を学内で行い、また夏の期間に白川夏祭りにおいて、粟田祭りに向けての子供たちワークショップを開催した。そこで制作した提灯を持ち、多くの子供たちが提灯行列に参加する運びとなった。	35	あり
6	フコクアトリウム空間プロデュースプロジェクト	2023/4/1ー 2024/3/31	富国生命保険相互会社	芸術教養センター	藤井 俊治 森 太三 森岡 厚次	大阪駅前にある大阪富国生命ビルの地下1階アトリウム「フコク生命の森」の空間演出をおこなうプロジェクト。 夏季は巨大壁画『今が生まれる』を制作。 2023年8月5日（土）～31日（木）まで展示 ワークショップ体験 ONE MISSION2023を開催 2023年8月5日（土）6日（日） 実施 冬季は昨年に続き「UMEDA MEETS HEART2023」へ出展する立体作品「ケイキ」を制作。「人とのつながり」を大切にしたいという思いを込めた大きなケーキを作成。 新たにソフトスカルプチュアという柔らかい素材を使った技法に挑戦し、優しさや暖かさを感じられる作品となった。 装飾のフルーツはイチゴ「愛情」や黄桃「友情」などを選択、相手を思う気持ちの花言葉を持つものを選んだ。10本の赤いロウソクには「祝福と喜び」そして、1本の白いロウソクには「始まりと期待」という意味がり、今年100周年を迎える富国生命保険相互会社が、これから新たな100周年へと始まりを迎えることへの期待を込めた作品となった。2022年12月1日(木)~12月25日(日)展示	20	あり
7	学園祭お化け屋敷プロジェクト	2023/4/1ー 2023/10/2	蒼山会	芸術教養センター	森岡 厚次	学園祭の大人気企画である「おばけ屋敷」の企画、制作、運営ができるプロジェクトです。京都の地で「人はなぜ怖いものに惹かれるのか」「本当の恐怖とは何か」をグループワークで学び、企画の「軸」となるストーリーを作るところから始めた。蒼山会から補助金を受け、チラシ制作やPR動画を撮影・編集する広報チーム、世界観や設定を考案する脚本チーム、衣装・メイク担当、小道具・仕掛け作り担当、音・光の演出担当等に分かれて準備し本番はキャスト等も全員で取り組んだ。	39	あり
8	瓜生山イルミネーション	2023/9/26ー 2024/1/16	蒼山会	芸術教養センター	森岡 厚次	京都芸術大学の入口になる人間館の柱や大階段付近を灯りによってアートな空間に演出し、学生や地域の方々、また白川通を行き交う人たちにイルミ ネーションを楽しんでいただくプロジェクト。2005年から始まり2023年度で18年目を迎えた。 今年のイルミネーションのタイトルは「月灯り」。人工的な照明ではなく、温かみのある光によって人を照らしたいという思いから、「灯り」の文字をあてました。月を見たときの大切なひとが見守ってくれているイメージや、物理的に遠く離れた人とも同じ月を見するという行為でつながっている感覚を「月」というモチーフに込め、プロジェクトのテーマ「人とのつながり」を表現しています。 今回は特別に紙幣の偽造防止などにも用いられるホログラム技術を持つクルツジャパン株式会社、株式会社ジェイ・エスさんから協賛いただき、広報で使うためのステッカーを制作いただきました。 また、プロジェクトは蒼山会からの活動補助をいただいており、蒼山会役員会からの意見も反映したデザインとなっています。	35	あり
9	京おどりねぶたプロジェクト2023	2023/1/24ー 2023/4/11	主催:宮川町お茶屋組合・学校法人 東山女子学園 協力:学校法人瓜生山学園 京都芸術大学	芸術教養センター	森岡 厚次	瓜生山ねぶたを通じて京おどりを共に盛り上げるため、39名のメンバーと3名のラーニングアシスタントのチームを結成。（参加学生42名）宮川町へのプレゼンを経て、今回の演目「洛中洛外おどり始 一出雲の阿国 かぶく夢一」にちなんだデザインが採用されました。 約1か月の期間をかけてねぶた制作が行われた。 ねぶた作品はギャラリー・オーブ エントランス吹き抜けエリアに展示 2023年4月1日（土）～9日（日）	42	なし

N o	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要 *200-250字を目安としてください	学生関与 (人数)	単位認定
10	台湾国際交流プロジェクト 2023	2023/9/29－ 2024/1/18	都市藝術工作室 Urban ART Studio (台湾)	芸術教養センター	森岡 厚次	このプロジェクトは、海を越えて台湾の地で合宿を行い、現地にて12日間かけて水に浮かぶ巨大な光のオブジェを制作する海外滞在型プロジェクトです。後期授業での活動では、大学にてプロジェクトメンバー同士コミュニケーションを図りながら、事前打ち合わせや材料の準備、小さなパーツ制作を行い、現地での制作に備えた。 今回は、旧正月に開催される台南市のランタンフェスティバル「2024月津港燈節」に参加します。本学としては5回目の参加となり、2020年からの3年ぶりの参加となる。多くのアーティストが参加し、作品を通して芸術や文化交流を図るとともに、国境を越えた絆を深めることが出来るこのプロジェクト。立体造形にしっかりと取り組みながら、海外の斬新なアイデアに触れ、キャリアアップにもつながるこれまでにない制作系プロジェクトである。	10	あり
11	カクダイナソーPJ	2023/4/1－ 2024/3/1	ACADEMIC VISION 合同会社	芸術教養センター	岡村暢一郎	「大阪・立売堀に位置する株式会社カクダイ本社ビルのショーウィンドウをプロデュース」 株式会社カクダイは水道用品・水栓金具を専門に扱うメーカーで、「面白い」を真面目に追求する唯一無二の会社です。そんな会社のショーウィンドウを舞台に、カクダイの製品を使った「カクダイナソー」とジオラマの制作を行います。このプロジェクトでは、制作だけでなく、クライアント企業との打ち合わせから、デザイン、プレゼンテーション、デジタルマーケティングによる情報発信まで一貫して取り組みます。実社会で必要とされるスキルを身につけると同時に、学科をまたいだグループワークによってコミュニケーション能力と物事を多角的に見る能力を養うことができた。	18	あり
12	TED×KUA プロジェクト	2023/4－ 2024/3	京都芸術大学	芸術教養センター	岡村暢一郎	「きみたちも世界的イベントTEDxKUAを立ち上げてみよう！」 私たちが開催する TEDxKUA(TEDに申請中)では、学園関係者（在校生、卒業生、教職員など）からスピーカーを選定し、芸術で平和を希求する大学らしいアイデアを世界に発信する。貴重な経験を手にすることができるプロジェクト！	7	あり
13	MMop写真美術館プロジェクト2023	2023/4/1－ 2024/3/1	株式会社アマナ	芸術教養センター	岡村暢一郎	御代田町在住の児童生徒に向け写真の楽しみ方を伝え、写真と関わる生き方を提示するという方針において、MMoPにおける写真と言葉を使ったワークショップの開発並びに指導を行った。	0	なし
14	京都伝統産業のPRに係る共同研究	2023/4/1－ 2024/3/1	株式会社京都エタニティ	芸術教養センター	岡村暢一郎	京都伝統産業のPRに係る共同研究ということで、和蛸燭であったりの学習とともに「平和の灯火」というイベントを実施した。	263	あり
15	WEB3、DAO等に係る共同研究	2023/4/1－ 2024/3/1	株式会社テクロス	芸術教養センター	岡村暢一郎	WEB3、DAO等に係る共同研究として、各界を代表するゲスト講師に登壇いただいた、講義内容は後日書籍にまとめる。	47	あり
16	ホスピタルアートHAPii+プロジェクト2023 聖ヨゼフ医療福祉センター前期	2023/4/1－ 2023/8/1	社会福祉法人聖ヨゼフ会 聖ヨゼフ医療福祉センター	芸術教養センター	箭内 新一	始めて、HAPii+として福祉とホスピタルアートに取り組むことになった。始まりは、病院院長から、福祉施設に新しい「何か」を学生といっしょに創造してほしい、との要望からだった。今までの壁画制作ではなく、モノではなくコトをつくる企画であり、まずは、聖ヨゼフ医療福祉センターを知ることから始まる。重度の障害を持つ利用者の方、ケアする医療従事者の方の活動から何が出来るか未知の状態からのミーティングが続いた。 現地視察、ヒアリング等をいつもより多く実施し、医療従事者の方々から貴重なアドバイスをいただきながら、最終的に施設と利用者の方を知る・交流するためのワークショップを企画した。絵の具などを使い、色と音や感触を伴った五感で交流するワークショップを提案し、プレゼンテーションを経て実施した。手探りのワークショップではあったが医療従事者の方に助けられて、利用者の方との交流の場が実現でき、学生にとっても大切な出会いの時間となった。それが、後期のプロジェクトにつながることになる。	35	あり

N o	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要 *200-250字を目安としてください	学生関与 (人数)	単位認定
17	ホスピタルアートHAPii+ プロジェクト2023 聖ヨゼ フ医療福祉センター後期	2023/9/1－ 2024/3/1	社会福祉法人聖ヨゼフ 会 聖ヨゼフ医療福祉セン ター	芸術教養センター	箭内 新一	今年度前期から続き、始めてHAPii+として福祉とホスピタルアートに取り組むことになった。始まりは、病院院長から、福祉施設に新しい「何か」を学生といっしょに創造してほしい、との要望からだった。今までの壁画制作ではなく、モノではなくコトをつくる企画となり、聖ヨゼフ医療福祉センターの活動を知ることから、利用者の方、医療従事者の方と共に何ができるか手探りの状態から始まった。 前期の知る・交流するを目的としたワークショップを受けて、後期では交流ワークショップを発展させた案をいくつか提案した中で、施設が毎年主催するクリスマス会に参加することにした。映像などメディアアートの手法を取り入れた参加型の演劇パフォーマンスを提案。制作途中もアドバイスをいただき、わかりやすい音や動きで反応し映像が展開する効果を持たせ、クリスマスの「魔法の世界観」を創作、発表した。楽器や映像、衣装など学生の手作りで、クリスマスツリーは、ねぶたの技法を取り入れ演出効果を増大させ、見事、クリスマスイベントのパフォーマンスは充実した内容となった。ご家族を含めた利用者の方、医療従事者の方から笑顔をたくさんいただくことができた。その結果を新聞形式の冊子を作成し、医療従事者の方へのインタビューを交えた記録として病院施設に届けるまでが今回のプロジェクトとなった。	35	あり
18	ホスピタルアートHAPii+ プロジェクト2023 北野病 院	2023/9/1－ 2024/3/1	公益財団法人 田附興 風会 医学研究所 北野 病院	芸術教養センター	箭内 新一	2021年度大阪梅田にある北野病院でのNICU・GCUでのホスピタルアートを実施、2022年度は診療科の2階と3階の中待合の廊下壁面にホスピタルアートを施工した。3年目となる2023年度はがん患者の点滴治療の施設、化学療法センターへの施工となった。医療従事者の環境改善及び病院利用者の心理的不安を和らげる安心できる治療空間の実現を目指した。 現地視察、ヒアリング、プレゼンテーション等を重ね、病院側からの安心できる心地よい空間の創造、落ち着いた大人向けのデザインなどの要望を受け、医療従事者の方々と協議しながら進めた。主な施工場所は、受付及び待合の壁面と時間を気にする利用者の方が多いという理由から時計のある壁面、男女のトイレを間違う方も多く見受けられるとの意見から男女のトイレ扉にサイン的要素のデザインを提案し施工した。共通デザインコンセプトは「余白」であり、鳥や葉などの自然物を余白で遊び心を取り入れ、落ち着きのある色調のデザイン設計とした。実際に稼働中の施設であるため2,3月の土日を利用し施工を実施し完成させた。	35	あり
19	京都大学フィールド科学教 育研究センター 第8回森里 海シンポジウム報告書 制 作業務	2023/6/1－ 2023/11/1	京都大学フィールド科 学教育研究センター	芸術教養センター	丸井栄二 中山博喜	京都大学との大学間連携の一環として、京都大学フィールド科学教育研究センターが開催した「第8回森里海シンポジウム『みんなで創る里山・里海の未来』」の内容を取りまとめた報告書の作成を担いました。	4	なし

N o	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要 *200-250字を目安としてください	学生関与 (人数)	単位認定
＜ウルトラファクトリー＞								
1	ヤノベプロジェクト2023 年宇宙の旅～銀座で銀河～	2023.5－ 2024.3	—	ウルトラファクトリー	ヤノベケンジ	作品制作や発表の現場をとおして美術家・ヤノベケンジの理念、思考、技術、戦略を体得するプロジェクト。23年度は2024年4月に商業施設「GINZA SIX」での作品展示をゴールに、8月に台湾初となる個展「SHIP'S CAT in Pingtung」に展示する大型作品制作に携わった他、大阪府茨木市の文化・子育て複合施設「おにクル」での展示に合わせて図書館内で使用できるブックカート、エプロンなどの制作、ワークショップイベントの運営など企画・立案から携わるとともに先方との連絡も担うなど、社会経験も実践的に積むことができた。	10	あり
2	やなぎみわ演劇プロジェクト	2023.5－ 2024.3	—	ウルトラファクトリー	やなぎみわ	美術作家でありながら、演劇の世界に活動の場を広げるやなぎみわによるプロジェクト。今年度は演劇に関わる制作だけでなく、2025年に開館予定の鳥取県立美術館のコレクションとなる4m高の写真作品《Windswept Woman》の額縁の装飾金具や留め具制作に主に携わった。12月には美術館へ作品とフレームの組み立てから作品展示までの美術館設置に至る舞台裏に立ち会った他、新聞社主催の文学賞のトロフィー制作にも携わることができた。また、制作面だけでなく、展覧会やトークイベントなどへ参加する勉強会も行われ、思考面でも考えを広げ深めるアプローチがなされた。	4	あり
3	ULTRA_Sandwich #19	2023.5－ 2024.3	—	ウルトラファクトリー	名和晃平	名和晃平が主宰する、クリエイティブ・プラットフォーム「Sandwich」における制作、企画、運営に学生が参加するプロジェクト。アーティスト、建築家、デザイナーなど、国内外からさまざまなクリエイターが集い進行する複数のプロジェクトに関わる。23年度は、Sandwichで生み出される作品や舞台演出の実験に関わりながら、ダンサー・田中泯との初のコラボレーションとなる舞台『彼岸より』、ダミアンジャレとの協働によるパフォーマンス作品《Planet [wanderer]》に関わるため、名和の解説つきで過去作品の鑑賞とそれぞれの作品に関わるリサーチ、舞台美術製作に携わった。	1	なし
4	日野町プロジェクト	2023.5－ 2024.3	—	ウルトラファクトリー	dot architects	建築家ユニットdot architectsとともに、滋賀県蒲生郡日野町に工芸を中心とした小規模多機能施設の建設を行い、産業の創出と地域づくりを行うプロジェクト。23年度は日野菜の菜園づくりやジビエ商店での鹿の解体作業、日野の伝統料理を継承する会との郷土料理を一緒に作って食事をするなど日野町の食に関するリサーチを進めた他、調査の拠点とするためのオフグリッドオフィスの施工、職人が減っている日野椀（日野町に古くから伝わる漆塗りのお椀）制作のためのろくろ製作を進めた。	15	なし
5	BYEDIT	2023.5－ 2024.3	—	ウルトラファクトリー	多田智美、竹内厚	「編集」の力をつかいながら、モノはつくらず、出来事やメディアを作り出すプロジェクト。毎週企画編集会議を行い、独自の切り口からイベントや冊子、ウェブサイトなどを企画、制作する。23年度は、「拡大解釈」をテーマにメディア制作を進めていた過程で大量の使用済み封筒を見つけたところから着想し、編集会議を経て冊子"Is this a book?"を制作。「KITAKAGAYA FLEA2023」にて出品を行った。また、ウルトラの年刊誌「THE ULTRA vol.16」の参加学生へのインタビューなど、ウルトラプロジェクトの取材も行った。	10	あり
6	BUYBYPRODUCTS プロジェクト	2023.5－ 2024.3	—	ウルトラファクトリー	矢津吉隆（副産物産店）、 山田毅（副産物産店）、 松本尚子、中村紀章、 水迫涼汰	廃棄されてしまうもの、用途を終えたもの、余剰資材など、アートやデザインの現場から出る廃材を”副産物（バイプロダクト）”と位置付け、新たな価値を見出し、アーティスト、建築家、デザイナーと学生が協働して、プロダクトの開発や実験を行なうプロジェクト。23年度は、授業課題や自主活動の制作過程で生まれた、端材・廃材・廃品などのいらなくなった"制作の副産物"を一か所に集め、無料提供する市場「みどりの市」を開催。また、京都信用金庫に設置するパーカウンターを廃材の合板を利用して製作した他、亀岡アップサイクルの企画などに携わった。	23	あり
7	MILESTONES	2023.5－ 2024.3	—	ウルトラファクトリー	細尾真孝	西陣織の老舗「細尾」が所蔵する約2万点の帯図案をデジタルアーカイブし、世界のラグジュアリーマーケットに向けて伝統素材を用いた新たな展開を企画、実現するプロジェクト。23年度は、ピクセルアート制作を中心に活動。これまでアーカイブした14,300点の図案から学生自身が数点選んで配色、ピクセル化などについてクリエイティブユニット「SPREAD」からアドバイスを受けながら制作を進めた。また、制作されたピクセルアートの商品化やプロダクト開発、展覧会の企画立案などを行った。	7	あり

N o	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要 *200-250字を目安としてください	学生関与 (人数)	単位認定
8	The Projercted Image Laboratory	2023.5－12	—	ウルトラファクトリー	山城大督	「時間」をテーマに映像メディアを用いた作品を展開するアーティスト・山城大督によるプロジェクト。コロナ以降、コミュニケーションや発信のメディアとして必要不可欠となった映像やオンラインコンテンツの役割や表現について、映像制作や配信のスキルを身につけながら実践的に開拓、探求する。23年度は、おにクルでのインタラクティブ作品「ワンダーウォール」の制作や、ロームシアター京都での「劇場の学校」にてワークショップ実施、本学ホームカミングデーでの配信に携わるなど、作品制作、ワークショップ、配信実務と映像表現、コンテンツを多面的に経験する機会となった。	5	あり
9	R E M A : P R O J E C T I I	2023.5－ 2024.2	—	ウルトラファクトリー	R E M A	本学の卒業生であり、若手の注目作家として活躍中のREMAによる彫刻作品制作プロジェクト。前年度に「砂の3Dプリンターを使用した彫刻作品」を展示したグランフロント大阪「ART SCRAMBLE 2023」の関連企画イベントでのシルクスクリーンを使用したキッズワークショップの準備、運営をはじめ、秋に阪急うめだギャラリーにて開催された展覧会「neo BOTANICAL」に展示する作品制作や、展覧会の搬入出、設営に関わったほか、グランフロント大阪の作品搬出作業に携わるなど、アーティスト活動に密に関わる機会となった。	1	なし
10	西條茜・グランフロント大阪プロジェクト	2023.5－ 2024.3	—	ウルトラファクトリー	西條茜	陶芸の手法や構造を独自に再解釈しながら、狭義の陶芸の枠組みを越え「身体性」をテーマに制作するアーティスト西條茜による屋外彫刻制作プロジェクト。3月のグランフロント大阪「ART SCRAMBLE 2024」に展示するための巨大な陶磁器製の彫刻作品制作に携わった。ウルトラファクトリーにてプロトタイプ制作、秋からは信楽の工房に場所を移し、現地へ出向いて作品制作を行った。本作は内部から水を循環させる複雑な仕組みに対応するため、粘土を一本一本紐状にして積み上げて制作され、学生にとっては難易度の高いものであったが貴重な体験となった。	4	なし

＜和太鼓教育センター＞

1	伏見稲荷大社 本宮祭 和太鼓奉納演奏	2023/7/23－ 2023/7/23	伏見稲荷大社	和太鼓教育センター	高木 克美 野田 悟	伏見稲荷大社において年に一度執り行われる神事。稲荷大神のご分霊を祀る全国の崇敬者が総本宮に参拝し、日々の御神恩	30	なし
2	「村山祥栄さんを応援する会」における和太鼓演奏	2023/8/19	2023.5－2024.3	和太鼓教育センター	高木 克美 野田 悟	元京都市会議員の村山祥栄氏が毎年行っている活動報告会と併せて応援パーティーが開催され、そのアトラクションとして本学の和太鼓 恵が10分間の演奏を行った。	12	なし
3	「第6回守成クラブ京都大会」における和太鼓演奏	2023/10/1	株式会社日本商工振興会・守成クラブ	和太鼓教育センター	高木 克美 野田 悟	株式会社日本商工振興会が開催している守成クラブ（企業経営者らによるビジネスの為の商売の会）の京都大会がウエスティン都ホテル京都で開催され、そのオープニングアトラクションとして本学の和太鼓 恵が10分間の演奏を行った。	14	なし
4	鍾馗祭 奉納舞のお囃子演奏	2023/11/1－ 2023/12/1	鍾馗ロード実行委員会	和太鼓教育センター	高木 克美 野田 悟	2013年に本学のまか通プロジェクトにおいて、京都市東山区内にある若宮八幡宮社の摂社として鍾馗神社が建立された。その後、鍾馗様に感謝するお祭として、毎年鍾馗祭が実施されている。その鍾馗祭において和太鼓恵が奉納舞のお囃子演奏を行いました。	5	なし
5	京都府立朱雀高等学校（定時制）文化祭における和太鼓演奏及びワークショップ	2023/11/10	京都府立朱雀高等学校 定時制	和太鼓教育センター	高木 克美 野田 悟	京都府立朱雀高等学校 定時制の文化祭において、本学の和太鼓サークル恵が和太鼓の演奏を披露し、そのあと、体験型のワークショップとして一部の希望する生徒らに腹筋を使った打法を伝授し、一緒に簡単なリズム演奏を行った。	17	なし
6	「メンバーズ80・岡田会」優勝祝賀会における和太鼓演奏	2023/12/1	「メンバーズ80・岡田会」	和太鼓教育センター	高木 克美 野田 悟	阪神タイガースの京都の後援会である「メンバーズ80・岡田会」がリーグ優勝と日本シリーズ制覇の祝賀会を開催。本学の和太鼓 恵が祝奏を行った。	10	なし
7	北白川小学校創立150周年記念事業における和太鼓演奏	2024/2/1	京都市立北白川小学校 創立150周年記念事業 実行委員会	和太鼓教育センター	高木 克美 野田 悟	京都市立北白川小学校の創立150周年を記念し、同小学校で開催されたフェスティバルにおいて、本学の和太鼓 恵が演奏を行いました。	15	なし

N o	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要 *200-250字を目安としてください	学生関与 (人数)	単位認定
--------	------	----	------	--------	-----	------------------------	--------------	------

<アート・コミュニケーション研究センター>

--	--	--	--	--	--	--	--	--

主催事業

1	主催セミナー「大学生と学ぶ対話型鑑賞ファシリテーション講座」	2023年7月－ 2024年3月	－	アート・コミュニケーション研究センター	伊達 隆洋 吉原和音	美術館や学校教育機関、ビジネスや医療分野の人材育成への活用など対話型鑑賞が広く普及し始めた一方で、実施者であるファシリテーターの技術を学べる場や機会の少なさという課題に対し、講義と実践を交えたセミナーをオンラインにて開講した。すべてオンラインでの実施、国内だけでなく海外居住者も参加受け入れをおこなった。プログラム運営をASP学生と協同し、学びの実践の場として、また社会人と学生の交流の場として運営を行った。	10	あり
2	主催セミナー「ACOPgym」		－	アート・コミュニケーション研究センター	伊達 隆洋 吉原和音	上記主催講座の修了生を対象としたプログラム（ファシリテーション実践、レクチャー、美術館をフィールドにした鑑賞ツアーなど）を実施。	2	なし
3	「VTC/VTS 日本上陸30周年記念フォーラム：対話型鑑賞のこれまでとこれから」記録書籍（出版）	2023年4－8月	淡交社	アート・コミュニケーション研究センター	福のり子 伊達 隆洋 吉原和音	2022年に実施した、対話型鑑賞が日本に紹介されてから30年を節目とした、これまでの背景、実践の紹介、そしてこれからの課題を検討する2日間のフォーラム「VTC/VTS 日本上陸30周年記念フォーラム：対話型鑑賞のこれまでとこれから」の記録書籍の執筆・編集・監修をおこなった。 監修：京都芸術大学アート・コミュニケーション研究センター 編集：福のり子、北野諒、平野智紀 出版：淡交社 価格：2,750円（税込） 2023年9月2日発行	0	なし

受託事業

1	茨木市教育委員会「出張型授業」	10月16日－31日	茨木市教育委員会	アート・コミュニケーション研究センター	吉原和音	茨木市を対象とした対話型鑑賞の実践（出前）授業を実施。2023年度は中学校2校（北陵中学校、彩都西中学校）をモデル校とし、連続授業および、美術課教員との連携事業および指導を行った。	0	なし
2	茨木市文化振興課「市民対象鑑賞（ACOP）講座および鑑賞会」	9月3日、10日、18日、24日、10月7日	茨木市市民文化部	アート・コミュニケーション研究センター	吉原和音	茨木市民対象とした対話型鑑賞実践講座（全5回）、鑑賞会（全3回）を実施。	0	なし
3	長久手市文化の家「市民対象鑑賞（ACOP）講座」	2024年2月17日、18日	長久手市文化の家	アート・コミュニケーション研究センター	伊達 隆洋	長久手市民対象とした対話型鑑賞実践講座（2日間）を実施。	0	なし
4	IVS KYOTOカンファレンス「市民対象鑑賞（ACOP）講座」	6月28日	IVS KYOTO実行委員会、(株)Headline Japan、京都府	アート・コミュニケーション研究センター	伊達 隆洋	対話型鑑賞に関する講演およびワークショップを実施。	0	なし
5	おおさか創造千島財団「MASK（MEGA ART STORAGE KITAKAGAYA）Open Storage 2023－拡張する収蔵庫－」対話型鑑賞鑑賞ツアー	10月29日	おおさか創造千島財団	アート・コミュニケーション研究センター	吉原和音	小学生、中学生以上を対象にした鑑賞プログラム（ツアー）を、センター監修のもと、アートプロデュース学科2回生が企画・運営・実施。	7	なし
6	京都府Art Collaboration Kyoto（ACK）「キッズプログラム鑑賞ツアー」	10月28－30日、3日間 対面	Art Collaboration Kyoto 実行委員会事務局	アート・コミュニケーション研究センター	吉原和音	アートフェアにおける教育普及プログラムの一環として、鑑賞ツアーの企画監修実施を行った。またACK事務局にインターンシップ生としてASP学科の学生2名を派遣し、キッズプログラムの実施サポートを担った。	2	あり
7	大阪府立江之子島文化芸術創造センター（enoco）「コレクション展鑑賞ツアー」	9月12日	大阪府立江之子島文化芸術創造センター（enoco）	アート・コミュニケーション研究センター	吉原和音	大阪府20世紀美術コレクションの活用事業として、大阪市内の小学生（3年生）を招待した鑑賞プログラムの監修と実施。	0	なし

N O	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要 *200-250字を目安としてください	学生関与 (人数)	単位認定
8	サントリーホールディングス(株) 「ビジネスパーソン向け研修(オンライン)」	5月16、17日、10月24、25日	サントリーホールディングス(株)	アート・コミュニケーション研究センター	伊達 隆洋	公募型社内研修における対話型鑑賞を活用したビジネスパーソン研修プログラムの企画開発及び実施。	0	なし
9	株式会社ビザビ コミュニケーション局 「ビジネスパーソン向け研修」	9月4日、5日	株式会社ビザビ コミュニケーション局	アート・コミュニケーション研究センター	伊達 隆洋	社内研修における対話型鑑賞を活用したビジネスパーソン研修プログラムの企画開発及び実施。	0	なし
10	株式会社セブン銀行 「ビジネスパーソン向け研修」	2024年1月29日、30日	株式会社セブン銀行 業務サポート部	アート・コミュニケーション研究センター	伊達 隆洋	社内研修における対話型鑑賞を活用したビジネスパーソン研修プログラムの企画開発及び実施。	9	なし
11	不二製油株式会社 「ビジネスパーソン向け研修」	2024年3月11日	不二製油株式会社 事業部門管掌(開発) 開発企画推進室	アート・コミュニケーション研究センター	伊達 隆洋	社内研修における対話型鑑賞を活用したビジネスパーソン研修プログラムの企画開発及び実施。	1	なし

共同研究事業

1	iPS細胞研究所 「細胞の人為的改変に関する制度論と印象論」研究協力	2022/4ー2023/3	iPS細胞研究所	アート・コミュニケーション研究センター	伊達 隆洋	先端科学医療に関する法整備は日進月歩の技術革新に追いついていないのが現状である。しかし、生命尊重の観点から鑑みても法整備は最重要課題と言える。その整備に向けて、一般人の細胞の人為的改変に関する意識をArtを切り口に考察して、いこうという試みに協力することになった。医療や先端科学を意識しないでArt作品に対話を通して親しむ姿から、人の意識の奥にある倫理観を探る手立てについてどのような作品からアプローチするのか考察していった。	0	なし
2	大阪教育大学付属支援校 令和5年度 研究計画（ユニット研究用）「知的障害特別支援学校美術科における対話型鑑賞の実践的研究」	2022/4ー2023/3	大阪教育大学付属支援校	アート・コミュニケーション研究センター	吉原和音	知的障害特別支援学校美術科における対話型鑑賞の実践へ観察参与および、研究検討ミーティング、論文校正を実施。	0	なし

<日本庭園・歴史遺産研究センター 日本庭園研究部門>

1	R5名勝玄宮楽々園植栽整備委託業務	2023/4ー2024/3	彦根市	京都芸術大学 日本庭園・歴史遺産研究センター 日本庭園研究部門	仲、尼崎、片石、荻野	彦根市に所在する国宝彦根城内の井伊藩の下屋敷である名勝玄宮楽々園において、本来の庭園植栽景觀に復元することを目指した主要景觀植栽（特別管理樹木）の整備業務委託である。また、名勝庭園管理における指導の役割として、センターからアドバイザー所員を現地に派遣し、主要景觀植栽以外の植栽管理や日常の庭園の構成要素に係る管理行為について、名勝としての姿を維持するための心構えと保存技術の指導を行った。	0	なし
2	彦根城博物館内庭園修景整備委託業務	2023/5ー2024/3	彦根市教育委員会	同上	仲、尼崎、片石、荻野	滋賀県彦根市に所在する彦根城博物館（表御殿）には発掘調査と古絵図を基に復元した庭園があり、彦根を代表する大名庭園である。庭園の修景について適切な維持管理を図るため、主要樹木の剪定等および博物館作業員への技術指導を行った。	0	なし
3	旧中西家住宅（吹田吉志部文人墨客迎賓館）保存活用計画策定業務（庭園・計画書/令和5年度分）	2023/4ー2024/3	一般財団法人京都伝統建築技術協会	同上	仲、荻野	大阪府吹田市に所在する旧中西家住宅の建物まわりに展開する庭園の保存活用計画策定を依頼された。策定にあたっては、現地調査、資料調査、現地実測記録、価値評価を行い、建造物の保存の方向性とそのまわりの庭園の保存の方向性の指針の整理を行い、保存と活用の計画を立案し、保存活用検討委員会にて協議に図り、策定を行った。	1	なし
4	令和5年度京都府庁庭園植栽調査業務委託	2023/6ー2023/9	京都府	同上	尼崎、仲、片石、荻野	京都府庁構内の庭園整備事業の一環で、過度に成長した樹木を伐採・剪定することにより、構内ならびに旧本館建物の眺望の確保および植栽景觀の向上を目的に、前庭の歴史背景等を踏まえた上での整備に係る調査所見作成を委託された。	1	なし

N o	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要 * 200-250字を目安としてください	学生関与 (人数)	単位認定
5	旧常喜医院庭園整備設計監理業務	2023/5－ 2024/3	米原市	同上	尼崎、仲、 片石、荻野	滋賀県米原市堂谷地区に所在する旧常喜医院の整備事業の一環で、建物まわりの庭園の修理を目的に設計を行い、工事監理を委託されたものである。	1	なし
6	日本万国博覧会記念公園 日本庭園景観整備方針検討 委託	2023/7－ 2023/11	大阪府日本万国博覧会 記念公園事務所	同上	仲、 片石、荻野	大阪府に所在する1970年に万国博覧会が開催されてから50年以上継承されてきた日本万国博覧会記念公園内の庭園エリアにおいて、さらなる庭園美を創出することを目標として、現況調査を実施し、策定意図を踏まえて留意点を整理した上で、今後の植栽管理方針、管理計画等を策定し、平成31年3月策定「日本庭園景観整備方針」を改訂することを目的とし、令和5年度日本庭園景観整備方針を策定した。	0	なし
7	令和5年度京都府庁内庭園 植栽設計業務	2023/8－ 2023/11	京都府	同上	尼崎、仲、 片石、荻野	本業務は、京都府庁内の過度に成長した植栽樹木を対象に、植栽調査成果に基づき、伐採・剪定等を実施することにより、府庁内外の眺望の確保及び景観向上を図るものである。特に旧本館前庭においては、築造当初と変遷の歴史的背景等を踏まえ、保存整備に係る実施設計を行った。	1	なし
8	令和5年度日本万国博覧会 記念公園日本庭園における クロマツ等剪定指導	2023/6－ 2024/3	阪神造園建設業協同組 合	同上	尼崎、仲、 片石、荻野	阪神造園建設業協同組合が大阪府より受注した「日本万国博覧会記念公園 日本庭園植栽等景観創出業務」に基づき、日本庭園・歴史遺産研究センターは日本万国博覧会記念公園日本庭園において作庭当初の設計意図を汲み取り、マツ、ツツジ類等を対象に、計3回の修復剪定の技術指導を行った。	0	なし
9	令和5年度日本万国博覧会 記念公園日本庭園植栽等景 観創出業務に係る修景管理 技術指導	2023/6－ 2024/3	阪神造園建設業協同組 合	同上	尼崎、仲、 片石、荻野	阪神造園建設業協同組合が大阪府より受注した「日本万国博覧会記念公園 日本庭園植栽等景観創出業務」に基づき、日本庭園・歴史遺産研究センターは日本万国博覧会記念公園日本庭園において作庭当初の設計意図を汲み取り、計2回の修景管理技術を指導した。	0	なし
10	令和5年度京都府庁庭園整 備修景監理業務	2023/12－ 2024/3	京都府	同上	尼崎、仲、 片石、荻野	京都府庁構内の旧本館前庭及びその他敷地内の樹木を伐採・剪定することにより、庭園景観の調和および旧本館等への眺望の回復を図ることを目的とするもので、工事施工業者に対し、伐採・剪定方法等の指導者としての役割と旧本館および文化庁や周辺の景観と調和する修景整備が遂行されるよう工事の監理業務を委託された。	1	なし
11	令和5年度旧正蔵坊庭園整 備工事委託業務	2024/1－ 2024/3	橋本敏子	同上	仲、杉本、 徳村、荻野	大津市に所在する旧正蔵坊の建物前に展開する庭園の境界石垣において、毀損箇所の特定と、修理の設計及び整備工事の実施、工事監理を委託されたため、文化財保存法に基づき、修理を行った。	0	なし
12	令和5年度空中茶室閑雲軒 再建プロジェクト	2023/10－ 2024/3	京都大学	同上	仲、尼崎、 木村、町田	石清水八幡宮は空中茶室・瀧本坊閑雲軒の再建という目標に向かって、調査成果に基づき模型製作を手掛けるもので、センターは主に江戸時代の起こし絵図には含まれていない「鳴門の間」を対象にした起こし絵図の新規作成と、起こし絵図を組み合わせた茶室模型の制作の依頼を受けた。令和5年度は地形模型と客殿部分の模型を制作し、京都大学に提出した。	1	なし
13	令和5年度祇園甲部歌舞練 場庭園発掘調査業務委託	2023/9－ 2024/1	株式会社植藤造園	同上	尼崎、仲、 杉本、荻野	祇園甲部歌舞練場の建物まわりに展開する庭園の整備が行われることに伴い、歴史的背景を踏まえ、前身の庭園遺構と想定される箇所の発掘調査を委託された。また、現況調査の依頼があり、地形を把握することを目的に、現況の標高値計測を行い、現況の庭園の地形・地割の変遷を検証した。	1	なし
14	草津市文化財まち歩き調査 業務	2023/12－ 2024/ 2	草津市	同上	仲、杉本、 荻野	滋賀県草津市内において、まち歩きを行い、歴史資産をひろく対象とした文化財の所在把握と情報収集を行うことを目的に、調査を委託された。	9	なし
15	史跡及び名勝平等院庭園洲 浜管理	2023/12	宗教法人平等院	同上	仲、杉本、 片石、荻野	過年度に庭園整備事業を実施した経緯から、整備後の庭園の象徴的意匠の洲浜の空間の維持管理を委託されたものである。年に2回程度の洲浜の草抜き、玉石敷均し作業を行っている。本業務は冬期作業として委託されたものである。	9	なし
16	草津市文化財マップ制作	2024/3	草津市	同上	仲、 杉本、荻野	滋賀県草津市内において、まち歩きを行い、歴史資産をひろく対象とした文化財の所在把握と情報収集を行った内容を、情報啓発の資料の一環として、マップ制作を行った。	9	なし
17	令和5年度祇園甲部歌舞練 場庭園実測調査業務委託	2024/3	株式会社植藤造園	同上	尼崎、仲、 荻野	本業務は祇園甲部歌舞練場の建物まわりに展開する庭園の整備が行われたことに伴い、園路地割の実測調査を依頼されたものである。	1	なし
18	尾山遺跡池泉跡移築復元指 導業務	2023/12－ 2024/3	植彌加藤造園株式会社	同上	仲、 杉本、荻野	JR島本駅西の開発に伴う埋蔵文化財発掘調査によって、鎌倉時代と伝わる尾山遺跡池泉跡が検出された。原位置の保護が叶わないことから、隣地の公園内に移築を行い保護を図ることとなった。遺跡を移築する際の文化財的技指導の協力を委託されたため、工事立会指導を行った。	0	なし

N o	テーマ名	期間	連携機関	学内関連機関	担当者	概要 *200-250字を目安としてください	学生関与 (人数)	単位認定
--------	------	----	------	--------	-----	------------------------	--------------	------

<日本庭園・歴史遺産研究センター 歴史遺産研究部門>

1	真田山旧陸軍墓地の墓石保全の研究	2023/4/1－ 2024/3/31	公益財団法人 真田山 陸軍墓地維持会	京都芸術大学 日本 庭園・歴史遺産研究 センター 歴史遺産研究部門	伊達 仁美 （歴史遺産学 科 客員教 授）・関野	真田山旧陸軍墓地における、墓石のクリーニングおよび樹脂注入による石質の強化処理を行い、2023年度は58基の処理を完了させた。また、破砕した墓石（D-1-10）の破片を回収し接合処置を行った。	0	なし
2	歴史資料修復業務 『天野川実測平面図第一』	2023/7－ 2024/3	滋賀県立琵琶湖博物館	同上	大林 賢太郎 （歴史遺産学 科 教授）・ 関野	琵琶湖博物館が保管する、明治期河川地図の実測記録のうち「天野川実測平面図 二枚之内第一」について、裏打ちを打ち替える本格修理を行った。	5	なし
3	知覧特攻平和会館所蔵紙資料修理補助	2024/2－ 2024/3	NPO法人 文化財保存 支援機構	同上	大林 賢太郎 （歴史遺産学 科 教授）・ 関野	NPO文化財保存支援機構関西支部が行っている知覧特攻平和会館所蔵の隊員遺書等の保存修復作業の一部を下請けし、補修紙を作成したり、欠失部の繕い、保存用包材の作成などを行った。	5	なし
4	「嶋左近」墓石の強化処理	2023/11－ 2024/12	日蓮宗 本山 立本寺 塔 頭 教法院	同上	伊達 仁美 （歴史遺産学 科 客員教 授）・関野	戦国武将、嶋左近の墓石の強化処理を行った。ブラシやたわしなどを用いて、全体の汚れや地衣類などの除去を行った後、石材強化剤（ワッカーOH100：ドイツ ワッカーケミー社）を全体へかけ流し、石質の強化を行った。	0	なし
5	「久多の里山文化活性化プロジェクト」の展示準備支援委託	2023/6－ 2024/3	久多自治振興会	同上	伊達 仁美 （歴史遺産学 科 客員教 授）・関野	「久多の里山文化活性化プロジェクト」において、2023年10月開催の展示準備支援を行った。また展示の開催に合わせて冊子「Old and New 京都久多の山村生活用具」を発行した。	6	なし